

北海道労働局と「長時間労働是正共同宣言」を締結

連合北海道と北海道労働局は3月18日、札幌市内で「長時間労働の是正に向けた共同宣言」を締結し、組織の垣根を越えて連携して長時間労働に依存した企業文化や職場風土の抜本的な見直し等に向けて取り組むことを確認した。

連合は、本年4月1日より改正労働基準法が施行されることを踏まえ、すべての職場でのよりよい働き方実現をめざし、36協定の適切な締結の徹底や、地域・社会における機運情勢を図ろうと「Action! 36」と銘打った取り組みを2019年3月まで展開している。

共同宣言の締結はこの「Action! 36」の行動の一環で、連合北海道は北海道労働局、経済団体、北海道に対して締結を求めていた。

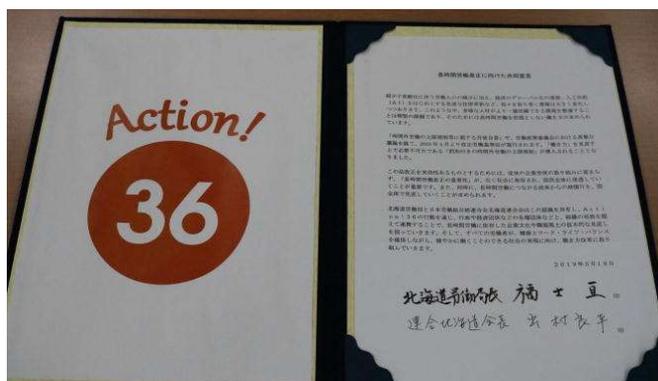
全国では「時間を大切に作る宣言」とあわせて、14の地方連合が労働局や経済団体、社労士会等と締結している。

この日の締結には北海道労働局から福士局長、連合北海道は出村会長が出席し、共同宣言にそれぞれ署名。福士労働局長は「今後、連携して取り組みを進めたい」と語った。

連合北海道は今後も経済団体等との締結に向けて事務レベルでの作業を進め、長時間労働是正の重要性を道民全体に広めていくこととしている。



共同宣言を締結した北海道労働局福士局長(左)と出村会長



締結した共同宣言